

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年11月16日～2050年9月16日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主 要 投資対象	為替ヘッジあり	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
投資制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	隔月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

◇SUZ0337920250917◇

NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) (為替ヘッジなし/隔月分配型) (為替ヘッジあり/資産成長型) (為替ヘッジなし/資産成長型) (愛称:選択の達人)

運用報告書(全体版)

隔月分配型	第38期 (決算日 2025年5月19日) 第39期 (決算日 2025年7月17日) 第40期 (決算日 2025年9月17日)
資産成長型	第14期 (決算日 2025年9月17日) (作成対象期間 2025年3月18日～2025年9月17日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター） **<3379>**
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3380>
<3381>
<3382>

為替ヘッジあり／隔月分配型

最近15期の運用実績

決算期 (分配落)	基準価額				公社 組 比	債 入 率	投 資 益 入 組	信 証 比	託 券 率	純 資 産 額
	税 分 配	込 金	期 騰 落	中 率						
26期末 (2023年5月17日)	円 8,616	円 30	% △	0.1	—	%	99.2	—	百万円 865	
27期末 (2023年7月18日)	8,726	30		1.6	—	—	99.0	—	863	
28期末 (2023年9月19日)	8,543	30	△	1.8	—	—	99.5	—	845	
29期末 (2023年11月17日)	8,420	30	△	1.1	—	—	99.3	—	843	
30期末 (2024年1月17日)	8,689	30		3.6	—	—	99.3	—	966	
31期末 (2024年3月18日)	8,624	30	△	0.4	0.0	0.0	99.3	—	1,004	
32期末 (2024年5月17日)	8,602	30		0.1	0.0	0.0	99.3	—	1,010	
33期末 (2024年7月17日)	8,664	30		1.1	0.0	0.0	99.3	—	1,006	
34期末 (2024年9月17日)	8,629	30	△	0.1	0.0	0.0	99.3	—	1,005	
35期末 (2024年11月18日)	8,577	30	△	0.3	0.0	0.0	99.4	—	957	
36期末 (2025年1月17日)	8,429	30	△	1.4	0.0	0.0	99.1	—	942	
37期末 (2025年3月17日)	8,272	30	△	1.5	0.0	0.0	99.3	—	908	
38期末 (2025年5月19日)	8,273	30		0.4	0.0	0.0	99.5	—	892	
39期末 (2025年7月17日)	8,360	30		1.4	0.0	0.0	99.4	—	835	
40期末 (2025年9月17日)	8,572	30		2.9	0.0	0.0	98.3	—	842	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

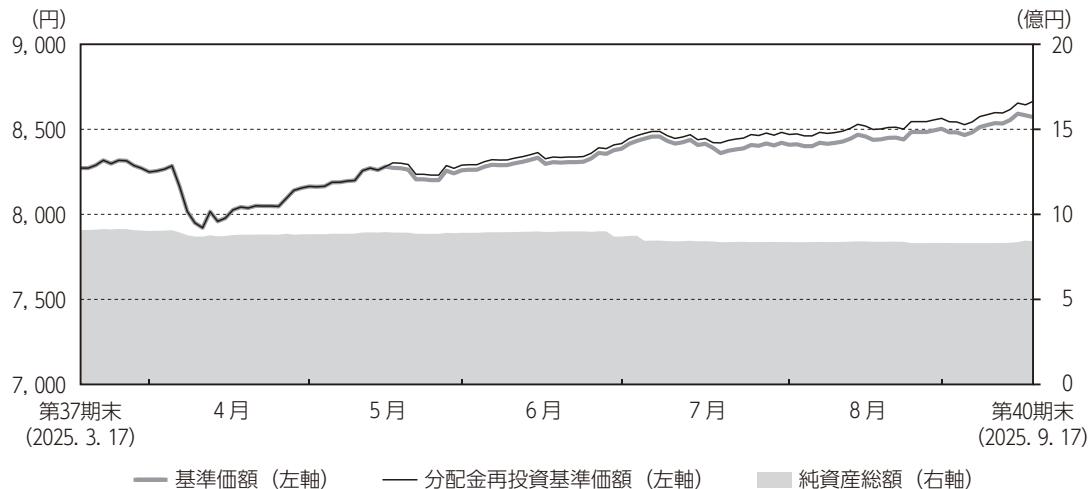
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指標がないため、ベンチマークおよび参考指標を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当座成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第38期首：8,272円

第40期末：8,572円（既払分配金90円）

騰落率：4.7%（分配金再投資ベース）

産クラスがプラスに寄与したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

■基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」で保有しているすべての資

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 組 比	社 債 入 率	投 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
			騰 落 率						
第38期	(期 首) 2025年3月17日	円 8,272	% —		% 0.0				% 99.3
	3月末	8,249	△ 0.3		0.0				99.4
	4月末	8,164	△ 1.3		0.0				99.3
	(期 末) 2025年5月19日	8,303	0.4		0.0				99.5
第39期	(期 首) 2025年5月19日	8,273	% —		0.0				99.5
	5月末	8,259	△ 0.2		0.0				99.3
	6月末	8,386	1.4		0.0				99.3
	(期 末) 2025年7月17日	8,390	1.4		0.0				99.4
第40期	(期 首) 2025年7月17日	8,360	% —		0.0				99.4
	7月末	8,409	0.6		0.0				99.4
	8月末	8,503	1.7		0.0				99.3
	(期 末) 2025年9月17日	8,602	2.9		0.0				98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025.3.18～2025.9.17)

■ 海外金融市场

海外金融市场では、株式市場は上昇し、国債金利は低下（債券価格は上昇）しました。

株式市場は、当作成期首より、2025年4月2日に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しい内容であったことから、株価はまれに見る急落に見舞われました。しかし、同月9日に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、株価は急反発しました。5月以降は、米中双方が関税を大幅に引き下げるなど米国の関税をめぐる懸念が後退する中で、A I（人工知能）関連企業の成長期待が高まったことやF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まることなどが好感され、上昇して当作成期末を迎きました。

債券市場では、当作成期首より、米国の関税政策への懸念から利下げ織り込みが急速に進行する一方で、財政への懸念などから不安定な展開となり、金利は短中期を中心に低下しました。2025年5月に入ると、関税政策をめぐる各国との交渉に進展が見られ、過度な景気減速懸念が後退したことなどから、金利は上昇（債券価格は下落）しました。6月は、インフレ率の下振れやF R Bの一部高官による発言などを受けて利下げ再開への期待が高まり、金利は低下しました。7月には、各種経済指標が市場予想を上回ったことなどを受けて早期の利下げ期待が後退し、金利は上昇しました。8月以降は、雇用統計の結果などから労働市場の悪化懸念が強まり、利下げ期待が再び高まることから、金利は短中期を中心に低下しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリ

才を維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025.3.18～2025.9.17)

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項目	第38期	第39期	第40期
	2025年3月18日 ～2025年5月19日	2025年5月20日 ～2025年7月17日	2025年7月18日 ～2025年9月17日
当期分配金（税込み）（円）	30	30	30
対基準価額比率（%）	0.36	0.36	0.35
当期の収益（円）	30	30	30
当期の収益以外（円）	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	1,111	1,128	1,149

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第38期	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 37.69円	✓ 47.77円	✓ 49.96円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	637.18	639.69	646.22
(d) 分配準備積立金	466.19	471.45	483.15
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,141.06	1,158.92	1,179.34
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,111.06	1,128.92	1,149.34

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項目	第38期～第40期 (2025.3.18～2025.9.17)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	47円	0.568%	信託報酬＝当成期中の平均基準価額×信託報酬率 当成期中の平均基準価額は8,318円です。
(投信会社)	(14)	(0.166)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(32)	(0.388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当成期中の売買委託手数料／当成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当成期中の有価証券取引税／当成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝当成期中のその他費用／当成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	48	0.572	

(注1) 当成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

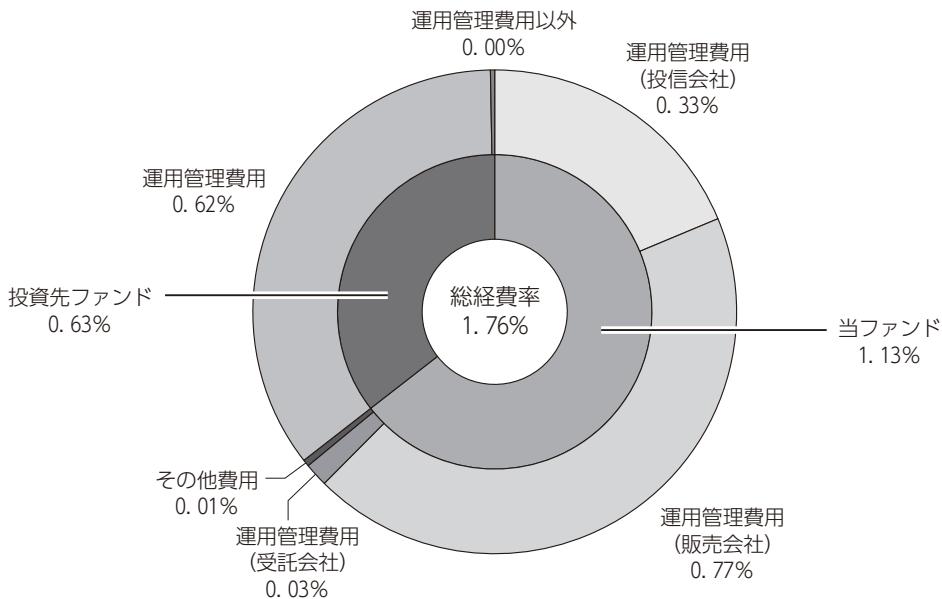
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率 (① + ② + ③)	1.76%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2025年3月18日から2025年9月17日まで)

決算期		第38期～第40期			
区 分	外 国 (邦貨建)	買付		売付	
		口 数	金額	口 数	金額
	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	千口	千円	千口	千円

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中ににおける利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2025年3月18日から2025年9月17日まで)

決算期	第38期～第40期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C
公社債	百万円 43,163	百万円 15,790	% 36.6	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	1,377,688	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中ににおける売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第40期末		
	口数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	千口 10,445,507263	千円 827,545	% 98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第37期末			第40期末		
	口数	口数	評価額	千円	千円	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 1	千円 1	千円 1	千円 1	千円 1	千円 1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年9月17日現在

項目	第40期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 827,545	% 97.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	21,630	2.5
投資信託財産総額	849,177	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年5月19日)、(2025年7月17日)、(2025年9月17日) 現在

項目	第38期末	第39期末	第40期末
(A) 資産	899,624,043円	841,552,941円	854,707,929円
コール・ローン等	11,054,818	10,378,648	16,100,992
投資信託受益証券（評価額）	888,567,602	831,172,669	827,545,313
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,623	1,624	1,625
未収入金	—	—	11,059,999
(B) 負債	6,655,490	5,644,026	12,543,185
未払金	—	—	5,530,000
未払収益分配金	3,238,259	2,999,498	2,947,479
未払解約金	1,671,530	1,016,372	2,428,182
未払信託報酬	1,733,051	1,603,797	1,601,472
その他未払費用	12,650	24,359	36,052
(C) 純資産総額 (A - B)	892,968,553	835,908,915	842,164,744
元本	1,079,419,733	999,832,777	982,493,161
次期繰越損益金	186,451,180	163,923,862	140,328,417
(D) 受益権総口数	1,079,419,733口	999,832,777口	982,493,161口
1万口当たり基準価額 (C / D)	8,273円	8,360円	8,572円

* 当作成期首における元本額は1,097,945,745円、当作成期間（第38期～第40期）中における追加設定元本額は21,333,517円、同解約元本額は136,786,101円です。

* 第40期末の計算口数当りの純資産額は8,572円です。

* 第40期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は140,328,417円です。

■損益の状況

第38期	自2025年3月18日	至2025年5月19日
第39期	自2025年5月20日	至2025年7月17日
第40期	自2025年7月18日	至2025年9月17日

項目	第38期	第39期	第40期
(A) 配当等収益	5,814,359円	5,433,443円	5,247,466円
受取配当金	5,807,847	5,426,600	5,241,593
受取利息	6,512	6,843	5,873
(B) 有価証券売買損益	654,320	7,929,127	19,797,516
売買益	350,518	8,718,001	20,033,131
売買損	1,004,838	788,874	235,615
(C) 信託報酬等	1,745,701	1,615,506	1,613,165
(D) 当期損益金 (A + B + C)	3,414,338	11,747,064	23,431,817
(E) 前期繰越損益金	169,786,515	156,299,117	143,191,254
(F) 追加信託差損益金	16,840,744	16,372,311	17,621,501
（配当等相当額）	(68,778,775)	(63,958,484)	(63,491,416)
（売買損益相当額）	(85,619,519)	(80,330,795)	(81,112,917)
(G) 合計 (D + E + F)	183,212,921	160,924,364	137,380,938
(H) 収益分配金	3,238,259	2,999,498	2,947,479
次期繰越損益金 (G + H)	186,451,180	163,923,862	140,328,417
追加信託差損益金	16,840,744	16,372,311	17,621,501
（配当等相当額）	(68,778,775)	(63,958,484)	(63,491,416)
（売買損益相当額）	(85,619,519)	(80,330,795)	(81,112,917)
分配準備積立金	51,152,148	48,914,719	49,431,268
繰越損益金	220,762,584	196,466,270	172,138,184

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第38期	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,068,658円	4,776,578円	4,909,508円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収益調整金	68,778,775	63,958,484	63,491,416
(d) 分配準備積立金	50,321,749	47,137,639	47,469,239
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	123,169,182	115,872,701	115,870,163
(f) 分配金	3,238,259	2,999,498	2,947,479
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	119,930,923	112,873,203	112,922,684
(h) 受益権総口数	1,079,419,733□	999,832,777□	982,493,161□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当たり分配金（税込み）	第38期	第39期	第40期
	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- 分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

（運用状況にかかる情報の提供）

- 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

為替ヘッジなし／隔月分配型

最近15期の運用実績

決算期 (分配落)	基準価額				公社 組比	債入率	投受組	資益入	信証比	託券率	純総資産額
	税 分 配	込 金	期 騰 落	中 率							
26期末 (2023年5月17日)	円 10,415	円 80	% 3.5		—	% —	99.2		% —	百万円 9,695	
27期末 (2023年7月18日)	10,763	80	4.1		—	—	99.0		—	10,174	
28期末 (2023年9月19日)	11,322	80	5.9		—	—	99.1		—	11,132	
29期末 (2023年11月17日)	11,414	90	1.6		—	—	99.2		—	11,917	
30期末 (2024年1月17日)	11,595	90	2.4		—	—	99.4		—	12,510	
31期末 (2024年3月18日)	11,741	90	2.0		0.0	0.0	99.2		—	13,726	
32期末 (2024年5月17日)	12,273	90	5.3		0.0	0.0	99.0		—	15,405	
33期末 (2024年7月17日)	12,693	90	4.2		0.0	0.0	99.0		—	16,887	
34期末 (2024年9月17日)	11,281	90	△ 10.4		0.0	0.0	99.3		—	15,752	
35期末 (2024年11月18日)	12,408	90	10.8		0.0	0.0	99.3		—	18,009	
36期末 (2025年1月17日)	12,310	90	△ 0.1		0.0	0.0	99.2		—	18,931	
37期末 (2025年3月17日)	11,580	90	△ 5.2		0.0	0.0	99.3		—	18,938	
38期末 (2025年5月19日)	11,418	90	△ 0.6		0.0	0.0	99.2		—	19,662	
39期末 (2025年7月17日)	11,774	90	3.9		0.0	0.0	99.3		—	20,679	
40期末 (2025年9月17日)	11,963	90	2.4		0.0	0.0	99.4		—	21,669	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

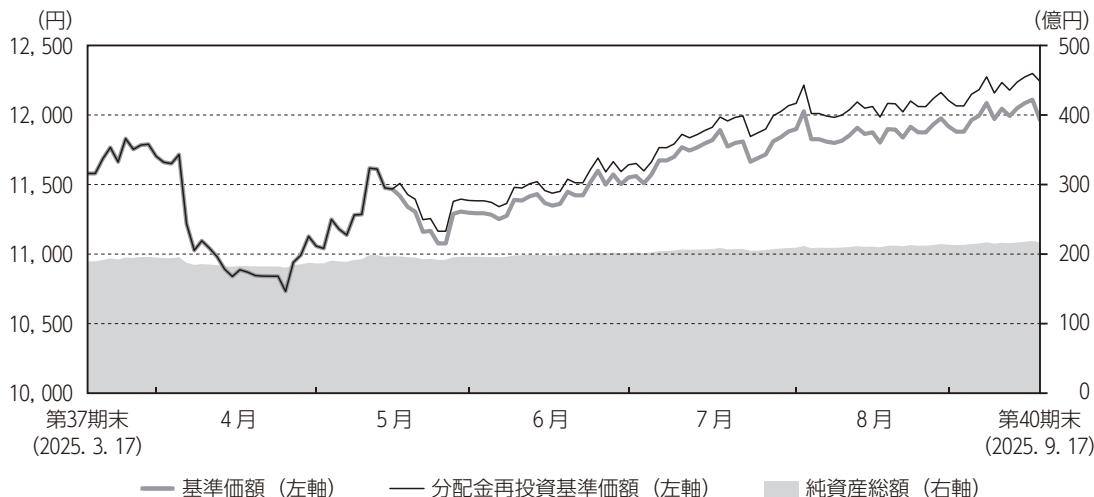
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指標がないため、ベンチマークおよび参考指標を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第38期首：11,580円

第40期末：11,963円（既払分配金270円）

騰落率：5.7%（分配金再投資ベース）

有している株式などすべての資産クラスがプラスに寄与したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

■基準価額の主な変動要因

米ドル円為替相場が円高米ドル安となりマイナス要因となったものの、「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」で保

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 價 額		公 組 比	社 債 入 率	投 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
			騰 落 率						
第38期	(期 首) 2025年3月17日	円 11,580	% —		% 0.0				% 99.3
	3月末	11,703	1.1		0.0				99.2
	4月末	11,058	△ 4.5		0.0				99.3
	(期 末) 2025年5月19日	11,508	△ 0.6		0.0				99.2
第39期	(期 首) 2025年5月19日	11,418	% —		0.0				99.2
	5月末	11,297	△ 1.1		0.0				99.2
	6月末	11,551	1.2		0.0				99.2
	(期 末) 2025年7月17日	11,864	3.9		0.0				99.3
第40期	(期 首) 2025年7月17日	11,774	% —		0.0				99.3
	7月末	11,899	1.1		0.0				99.2
	8月末	11,919	1.2		0.0				99.3
	(期 末) 2025年9月17日	12,053	2.4		0.0				99.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025.3.18～2025.9.17)

■ 海外金融市场

海外金融市场では、株式市場は上昇し、国債金利は低下（債券価格は上昇）しました。

株式市場は、当作成期首より、2025年4月2日に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しい内容であったことから、株価はまれに見る急落に見舞われました。しかし、同月9日に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、株価は急反発しました。5月以降は、米中双方が関税を大幅に引き下げるなど米国の関税をめぐる懸念が後退する中で、A I（人工知能）関連企業の成長期待が高まったことやF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まることなどが好感され、上昇して当作成期末を迎きました。

債券市場では、当作成期首より、米国の関税政策への懸念から利下げ織り込みが急速に進行する一方で、財政への懸念などから不安定な展開となり、金利は短中期を中心に低下しました。2025年5月に入ると、関税政策をめぐる各国との交渉に進展が見られ、過度な景気減速懸念が後退したことなどから、金利は上昇（債券価格は下落）しました。6月は、インフレ率の下振れやF R Bの一部高官による発言などを受けて利下げ再開への期待が高まり、金利は低下しました。7月には、各種経済指標が市場予想を上回ったことなどを受けて早期の利下げ期待が後退し、金利は上昇しました。8月以降は、雇用統計の結果などから労働市場の悪化懸念が強まり、利下げ期待が再び高まることから、金利は短中期を中心に低下しました。

■ 為替相場

米ドル為替相場は対円で下落（円高）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国の関税政策を発端として市場参加者のリスク回避姿勢が強まることなどから、円高基調となりました。2025年5月は、貿易交渉の進展を背景にリスク選好が強まることなどから、月前半に円安が進行しましたが、後半には、国内金利の上昇を受けた日米金利差縮小の思惑などから円高圧力が強まり、米ドル円は上昇幅を縮小しました。6月には、中東情勢の緊迫化などから米ドル円が上下に振れる局面もありましたが、日銀が追加利上げに対して慎重な姿勢を維持したことなどから、日米金利差縮小への期待が後退し、円安が進行しました。7月も、米国の利下げ期待が後退したことや、日本の参議院議員選挙を前に財政拡張懸念が強まることなどから、円安基調が継続しました。8月は、軟調な雇用統計などを受けて米国の利下げ期待が高まることで金利差縮小が意識され、急速に円高となりましたが、その後はレンジでの推移となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025.3.18～2025.9.17)

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当成績期の1万口当たり分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当たり）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当たり）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第38期	第39期	第40期
	2025年3月18日 ～2025年5月19日	2025年5月20日 ～2025年7月17日	2025年7月18日 ～2025年9月17日
当期分配金（税込み）(円)	90	90	90
対基準価額比率（%）	0.78	0.76	0.75
当期の収益（円）	84	90	90
当期の収益以外（円）	5	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	3,144	3,156	3,165

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計算上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

■収益分配金の計算過程（1万口当たり）

項目	第38期	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 84.03円	✓ 101.85円	✓ 97.76円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,853.19	1,898.15	1,952.31
(d) 分配準備積立金	✓ 1,296.76	1,246.76	1,205.77
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,233.99	3,246.77	3,255.85
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,143.99	3,156.77	3,165.85

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項目	第38期～第40期 (2025.3.18～2025.9.17)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	66円	0.568%	信託報酬＝当成期中の平均基準価額×信託報酬率 当成期中の平均基準価額は11,545円です。
(投信会社)	(19)	(0.166)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(45)	(0.388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当成期中の売買委託手数料／当成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当成期中の有価証券取引税／当成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝当成期中のその他費用／当成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	66	0.572	

(注1) 当成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

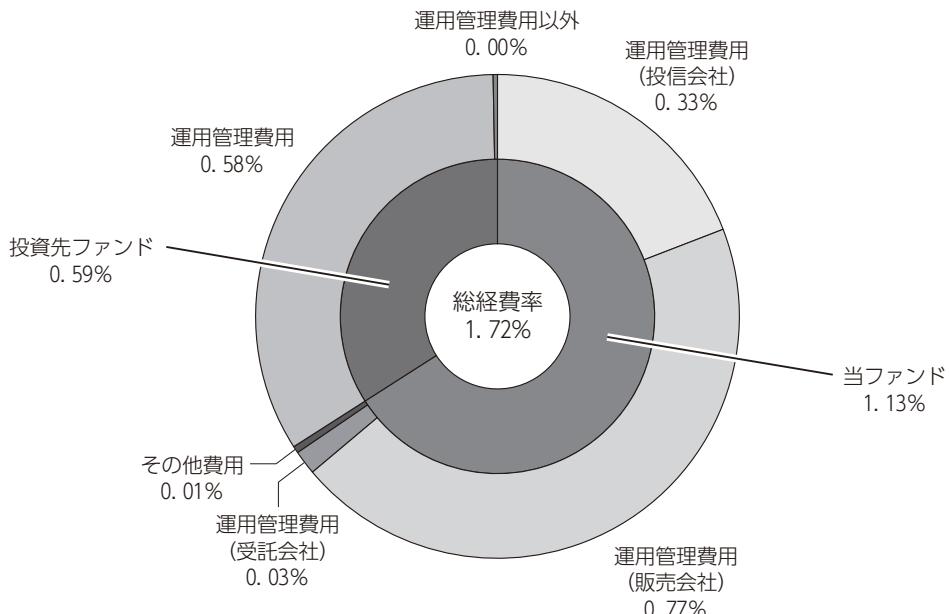
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.72%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。

（注5）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2025年3月18日から2025年9月17日まで)

決算期		第38期～第40期			
区 分	外 国 (邦 貨 建)	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	千口	千円	千口	千円

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中ににおける利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2025年3月18日から2025年9月17日まで)

決算期	第38期～第40期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C
公社債	百万円 43,163	百万円 15,790	% 36.6	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	1,377,688	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中ににおける売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第40期末		
	口数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON- HEDGED DISTRIBUTION CLASS	千口 194,693,315871	千円 21,534,248	% 99.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第37期末			第40期末		
	口数	口数	評価額	千円	千円	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 1	千円 1	千円 1	千円 1	千円 1	千円 1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年9月17日現在

項目	第40期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 21,534,248	% 98.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	345,269	1.6
投資信託財産総額	21,879,519	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年5月19日)、(2025年7月17日)、(2025年9月17日) 現在

項目	第38期末	第39期末	第40期末
(A) 資産	19,862,120,040円	20,876,729,218円	21,879,519,385円
コール・ローン等	353,494,391	348,299,918	345,269,035
投資信託受益証券（評価額）	19,508,624,196	20,528,427,846	21,534,248,895
ダイワ・マナー・マザーファンド（評価額）	1,453	1,454	1,455
(B) 負債	200,107,879	197,144,184	209,696,737
未払収益分配金	154,977,403	158,073,475	163,032,328
未払解約金	8,013,434	2,166,636	5,327,488
未払信託報酬	36,847,455	36,368,400	40,504,902
その他未払費用	269,587	535,673	832,019
(C) 純資産総額 (A - B)	19,662,012,161	20,679,585,034	21,669,822,648
元本	17,219,711,555	17,563,719,551	18,114,703,201
次期繰越損益金	2,442,300,606	3,115,865,483	3,555,119,447
(D) 受益権総口数	17,219,711,555口	17,563,719,551口	18,114,703,201口
1万口当り基準価額 (C / D)	11,418円	11,774円	11,963円

* 当成期首における元本額は16,354,943,186円、当成期間（第38期～第40期）中における追加設定元本額は2,397,588,424円、同解約元本額は637,828,409円です。

* 第40期末の計算口数当りの純資産額は11,963円です。

■損益の状況

第38期	自2025年3月18日	至2025年5月19日
第39期	自2025年5月20日	至2025年7月17日
第40期	自2025年7月18日	至2025年9月17日

項目	第38期	第39期	第40期
(A) 配当等収益	181,820,197円	187,274,074円	191,721,766円
受取配当金	181,609,634	187,102,192	191,519,606
受取利息	210,563	171,882	202,160
(B) 有価証券売買損益	247,112,560	630,881,104	343,196,562
売買益	7,325,124	633,066,968	344,631,751
売買損	254,437,684	2,185,864	1,435,189
(C) 信託報酬等	37,117,042	36,634,486	40,801,248
(D) 当期損益金 (A + B + C)	102,409,405	781,520,692	494,117,080
(E) 前期繰越損益金	637,748,394	374,725,099	986,262,386
(F) 追加信託差損益金	2,061,939,020	2,117,693,167	2,237,772,309
(配当等相当額)	(3,191,149,565)	(3,333,871,997)	(3,536,560,989)
(売買損益相当額)	(△1,129,210,545)	(△1,216,178,830)	(△1,298,788,680)
(G) 合計 (D + E + F)	2,597,278,009	3,273,938,958	3,718,151,775
(H) 収益分配金	154,977,403	158,073,475	163,032,328
次期繰越損益金 (G + H)	2,442,300,606	3,115,865,483	3,555,119,447
追加信託差損益金	2,061,939,020	2,117,693,167	2,237,772,309
(配当等相当額)	(3,191,149,565)	(3,333,871,997)	(3,536,560,989)
(売買損益相当額)	(△1,129,210,545)	(△1,216,178,830)	(△1,298,788,680)
分配準備積立金	2,222,723,203	2,210,600,175	2,198,290,140
繰越損益金	△1,842,361,617	△1,212,427,859	△880,943,002

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第38期	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	144,703,155円	178,888,440円	177,098,599円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収益調整金	3,191,149,565	3,333,871,997	3,536,560,989
(d) 分配準備積立金	2,232,997,451	2,189,785,210	2,184,223,869
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	5,568,850,171	5,702,545,647	5,897,883,457
(f) 分配金	154,977,403	158,073,475	163,032,328
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	5,413,872,768	5,544,472,172	5,734,851,129
(h) 受益権総口数	17,219,711,555口	17,563,719,551口	18,114,703,201口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当たり分配金（税込み）	第38期	第39期	第40期
	90円	90円	90円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- 分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

（運用状況にかかる情報の提供）

- 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

為替ヘッジあり／資産成長型

最近5期の運用実績

決算期 (分配落)	基準価額				公社 組 比	債 入 率	投 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率	純 資 産 額
	税 分 配	配	込 金	期 騰 落							
10期末 (2023年9月19日)	円 9,354		円 0	% △ 0.3		% —			% 99.1		百万円 692
11期末 (2024年3月18日)	9,541		0	2.0		0.0			95.3		712
12期末 (2024年9月17日)	9,645		0	1.1		0.0			99.3		621
13期末 (2025年3月17日)	9,346		0	△ 3.1		0.0			99.3		540
14期末 (2025年9月17日)	9,789		0	4.7		0.0			99.3		519

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

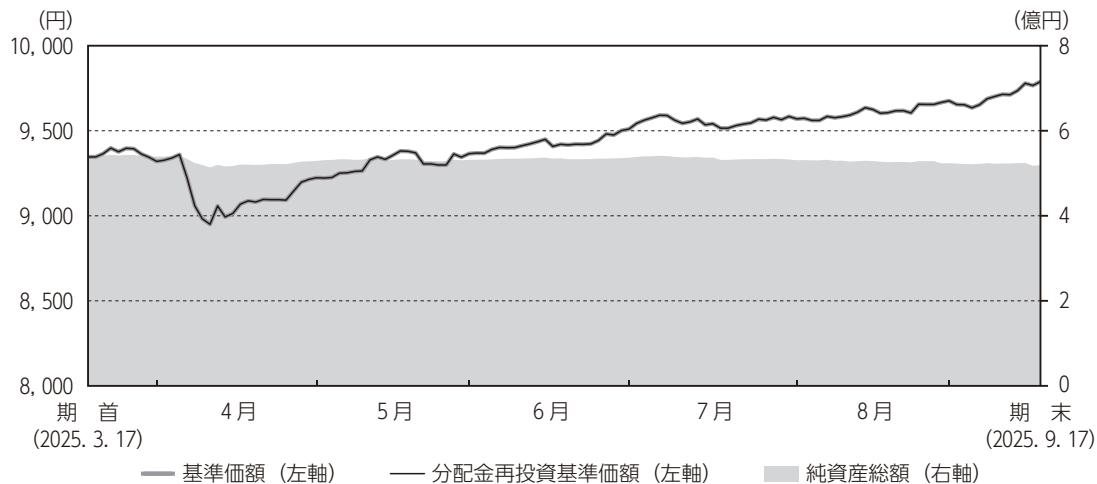
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指標がないため、ベンチマークおよび参考指標を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期首：9,346円

期末：9,789円（分配金0円）

騰落率：4.7%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」で保有しているすべての資

産クラスがプラスに寄与したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）

年 月 日	基 準 價 額		公 組 比	社 債 入 率	投 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰	落						
(期 首) 2025年3月17日	円 9,346		% —	% 0.0				% 99.3
3月末	9,320	△	0.3	0.0				99.3
4月末	9,224	△	1.3	0.0				99.2
5月末	9,365		0.2	0.0				99.5
6月末	9,510		1.8	0.0				99.3
7月末	9,570		2.4	0.0				99.5
8月末	9,676		3.5	0.0				99.3
(期 末) 2025年9月17日	9,789		4.7	0.0				99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025.3.18～2025.9.17)

■ 海外金融市场

海外金融市场では、株式市場は上昇し、国債金利は低下（債券価格は上昇）しました。

株式市場は、当作成期首より、2025年4月2日に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しい内容であったことから、株価はまれに見る急落に見舞われました。しかし、同月9日に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、株価は急反発しました。5月以降は、米中双方が関税を大幅に引き下げるなど米国の関税をめぐる懸念が後退する中で、A I（人工知能）関連企業の成長期待が高まったことやF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まることなどが好感され、上昇して当作成期末を迎きました。

債券市場では、当作成期首より、米国の関税政策への懸念から利下げ織り込みが急速に進行する一方で、財政への懸念などから不安定な展開となり、金利は短中期を中心に低下しました。2025年5月に入ると、関税政策をめぐる各国との交渉に進展が見られ、過度な景気減速懸念が後退したことなどから、金利は上昇（債券価格は下落）しました。6月は、インフレ率の下振れやF R Bの一部高官による発言などを受けて利下げ再開への期待が高まり、金利は低下しました。7月には、各種経済指標が市場予想を上回ったことなどを受けて早期の利下げ期待が後退し、金利は上昇しました。8月以降は、雇用統計の結果などから労働市場の悪化懸念が強まり、利下げ期待が再び高まることから、金利は短中期を中心に低下しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリ

才を維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025.3.18～2025.9.17)

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当成績期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送させていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2025年3月18日 ～2025年9月17日	
当期分配金（税込み）（円）	—	
対基準価額比率（%）	—	
当期の収益（円）	—	
当期の収益以外（円）	—	
翌期繰越分配対象額（円）		2,265

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項目	当期 (2025.3.18～2025.9.17)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	54円	0.568%	信託報酬＝当成期中の平均基準価額×信託報酬率 当成期中の平均基準価額は9,434円です。
(投信会社)	(16)	(0.166)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(37)	(0.388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当成期中の売買委託手数料／当成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当成期中の有価証券取引税／当成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝当成期中のその他費用／当成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	54	0.572	

(注1) 当成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

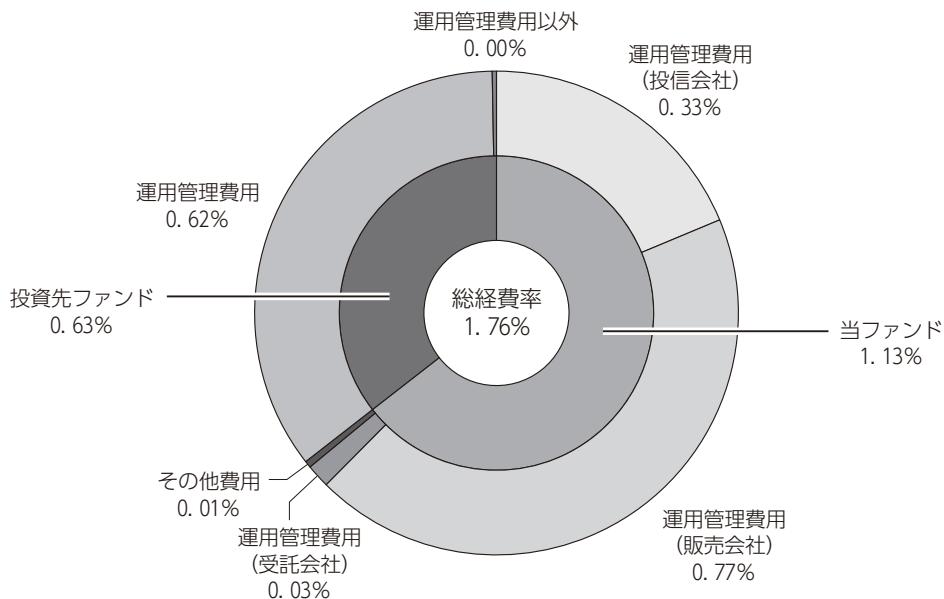
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.76%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。

（注5）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2025年3月18日から2025年9月17日まで)

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	千口	千円	千口	千円

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1)当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2025年3月18日から2025年9月17日まで)

決算期	当期						
	区分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
公社債	百万円	百万円	%		百万円	百万円	%
公社債	43,163	15,790	36.6	—	—	—	—
コール・ローン	1,377,688	—	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON- HEDGED DISTRIBUTION CLASS	千口 6,509,171.045	千円 515,689	% 99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	当期末		
	期首	口数	評価額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 1	千円 1	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年9月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 515,689	% 97.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	14,157	2.7
投資信託財産総額	529,848	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年9月17日現在

項目	当期末
(A) 資産	529,848,620円
コール・ローン等	14,157,738
投資信託受益証券（評価額）	515,689,076
ダイワ・マニー・マザーファンド（評価額）	1,806
(B) 負債	10,699,862
未払解約金	7,659,515
未払信託報酬	3,018,344
その他未払費用	22,003
(C) 純資産総額 (A - B)	519,148,758
元本	530,327,992
次期繰越損益金	11,179,234
(D) 受益権総口数	530,327,992口
1万口当り基準価額 (C / D)	9,789円

*期首における元本額は578,001,148円、当作成期間中における追加設定元本額は7,103,065円、同解約元本額は54,776,221円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,789円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は11,179,234円です。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	8,718,238円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	41,598,181
(d) 分配準備積立金	69,853,421
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	120,169,840
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	120,169,840
(h) 受益権総口数	530,327,992口

■損益の状況

当期 自2025年3月18日 至2025年9月17日

項目	当期
(A) 配当等収益	9,844,383円
受取配当金	9,830,263
受取利息	14,120
(B) 有価証券売買損益	16,730,618
売買益	17,667,383
売買損	△ 936,765
(C) 信託報酬等	3,040,347
(D) 当期損益金 (A + B + C)	23,534,654
(E) 前期繰越損益金	54,698,125
(F) 追加信託差損益金	19,984,237
(配当等相当額)	(41,598,181)
(売買損益相当額)	(△ 21,613,944)
(G) 合計 (D + E + F)	11,179,234
次期繰越損益金 (G)	△ 11,179,234
追加信託差損益金	19,984,237
(配当等相当額)	(41,598,181)
(売買損益相当額)	(△ 21,613,944)
分配準備積立金	78,571,659
繰越損益金	△ 109,735,130

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

(運用報告書に記載すべき事項の提供)

- ① 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ② 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

(運用状況にかかる情報の提供)

- ① 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ② 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

為替ヘッジなし／資産成長型

最近5期の運用実績

決算期 (分配落)	基準価額				公社 組比	債入率	投受組	資益入	信証比	託券率	純総資産額
	税 分 配	配	込 金	期 騰 落							
10期末 (2023年9月19日)	円 13,859		円 0		% 14.2	—			% 99.3		百万円 2,687
11期末 (2024年3月18日)	14,714		0		6.2	0.0			98.2		3,357
12期末 (2024年9月17日)	14,450		0	△	1.8	0.0			99.3		4,011
13期末 (2025年3月17日)	15,161		0		4.9	0.0			99.2		4,288
14期末 (2025年9月17日)	16,026		0		5.7	0.0			98.9		4,569

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

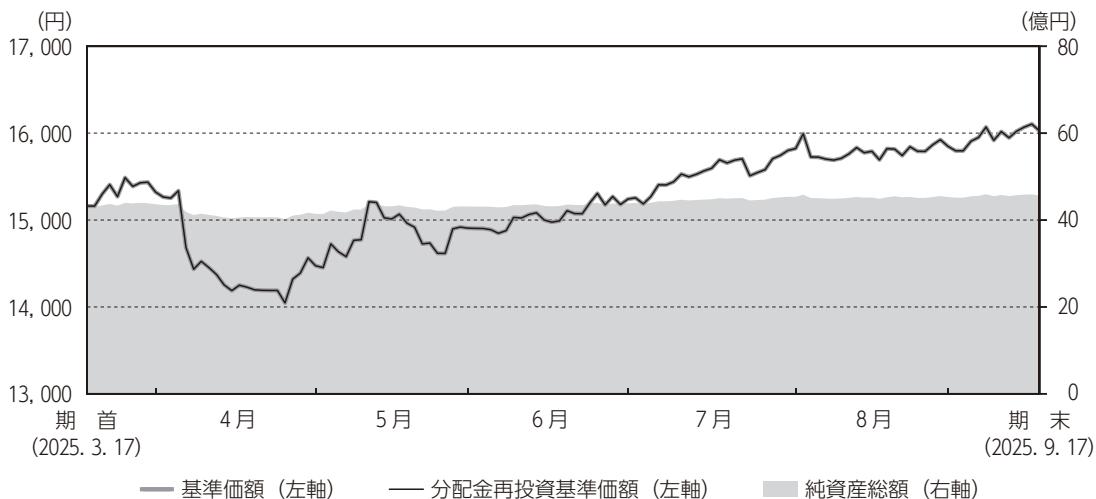
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指標がないため、ベンチマークおよび参考指標を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当座成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期 首：15,161円

期 末：16,026円（分配金 0円）

騰落率：5.7%（分配金込み）

有している株式などすべての資産クラスがプラスに寄与したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

■基準価額の主な変動要因

米ドル円為替相場が円高米ドル安となりマイナス要因となったものの、「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」で保

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

年 月 日	基 準 價 額		公 組 比	社 債 入 率	投 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰	落						
(期 首) 2025年3月17日	円 15,161		% —	% 0.0			% 99.2	
3月末	15,322		1.1	0.0			99.3	
4月末	14,474	△	4.5	0.0			99.4	
5月末	14,907	△	1.7	0.0			99.2	
6月末	15,242		0.5	0.0			99.1	
7月末	15,822		4.4	0.0			99.4	
8月末	15,849		4.5	0.0			99.2	
(期 末) 2025年9月17日	16,026		5.7	0.0			98.9	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025.3.18～2025.9.17)

■ 海外金融市场

海外金融市场では、株式市場は上昇し、国債金利は低下（債券価格は上昇）しました。

株式市場は、当作成期首より、2025年4月2日に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しい内容であったことから、株価はまれに見る急落に見舞われました。しかし、同月9日に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、株価は急反発しました。5月以降は、米中双方が関税を大幅に引き下げるなど米国の関税をめぐる懸念が後退する中で、A I（人工知能）関連企業の成長期待が高まったことやF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まることなどが好感され、上昇して当作成期末を迎きました。

債券市場では、当作成期首より、米国の関税政策への懸念から利下げ織り込みが急速に進行する一方で、財政への懸念などから不安定な展開となり、金利は短中期を中心に低下しました。2025年5月に入ると、関税政策をめぐる各国との交渉に進展が見られ、過度な景気減速懸念が後退したことなどから、金利は上昇（債券価格は下落）しました。6月は、インフレ率の下振れやF R Bの一部高官による発言などを受けて利下げ再開への期待が高まり、金利は低下しました。7月には、各種経済指標が市場予想を上回ったことなどを受けて早期の利下げ期待が後退し、金利は上昇しました。8月以降は、雇用統計の結果などから労働市場の悪化懸念が強まり、利下げ期待が再び高まることから、金利は短中期を中心に低下しました。

■ 為替相場

米ドル為替相場は対円で下落（円高）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国の関税政策を発端として市場参加者のリスク回避姿勢が強まることなどから、円高基調となりました。2025年5月は、貿易交渉の進展を背景にリスク選好が強まることなどから、月前半に円安が進行しましたが、後半には、国内金利の上昇を受けた日米金利差縮小の思惑などから円高圧力が強まり、米ドル円は上昇幅を縮小しました。6月には、中東情勢の緊迫化などから米ドル円が上下に振れる局面もありましたが、日銀が追加利上げに対して慎重な姿勢を維持したことなどから、日米金利差縮小への期待が後退し、円安が進行しました。7月も、米国の利下げ期待が後退したことや、日本の参議院議員選挙を前に財政拡張懸念が強まることなどから、円安基調が継続しました。8月は、軟調な雇用統計などを受けて米国の利下げ期待が高まることで金利差縮小が意識され、急速に円高となりましたが、その後はレンジでの推移となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025. 3. 18～2025. 9. 17)

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当成績期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送させていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期	
	2025年3月18日	～2025年9月17日
当期分配金（税込み）（円）	—	—
対基準価額比率（%）	—	—
当期の収益（円）	—	—
当期の収益以外（円）	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	6,026	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計算上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項目	当期 (2025.3.18～2025.9.17)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	87円	0.568%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は15,236円です。
(投信会社)	(25)	(0.166)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(59)	(0.388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	87	0.572	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

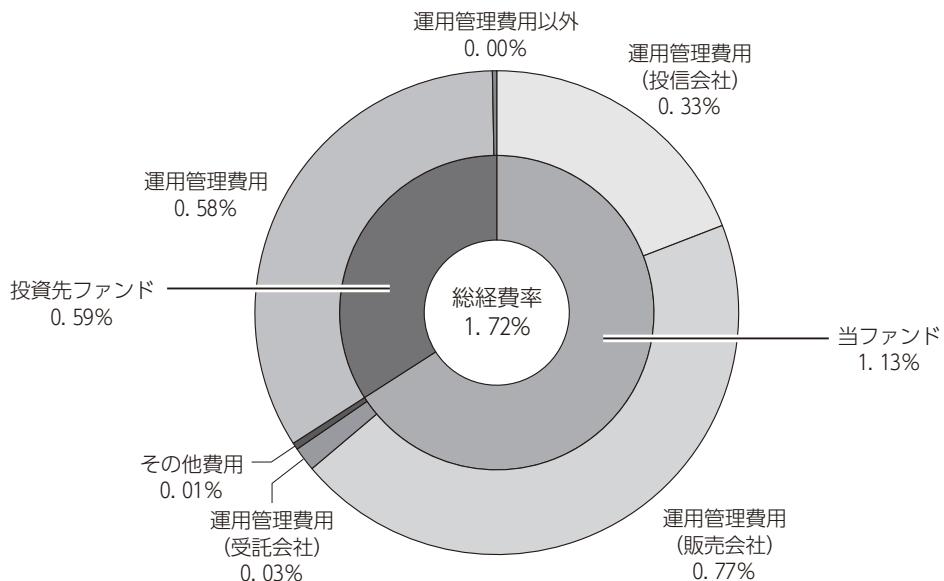
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.72%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。

（注5）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2025年3月18日から2025年9月17日まで)

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	千口	千円	千口	千円

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1)当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2025年3月18日から2025年9月17日まで)

決算期	当期						
	区分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%	
公債	43,163	15,790	36.6	—	—	—	—
コール・ローン	1,377,688	—	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON- HEDGED DISTRIBUTION CLASS	千口 40,862,20937	千円 4,519,605	% 98.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	当期末		
	期首	口数	評価額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 1	千円 1	千円 1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年9月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 4,519,605	% 98.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	80,000	1.7
投資信託財産総額	4,599,607	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年9月17日現在

項目	当期末
(A) 資産	4,619,127,470円
コール・ローン等	60,480,647
投資信託受益証券（評価額）	4,519,605,530
ダイワ・マニー・マザーファンド（評価額）	1,294
未収入金	39,039,999
(B) 負債	49,330,762
未払金	19,520,000
未払解約金	4,811,946
未払信託報酬	24,817,306
その他未払費用	181,510
(C) 純資産額 (A - B)	4,569,796,708
元本	2,851,454,884
次期繰越損益金	1,718,341,824
(D) 受益権総口数	2,851,454,884口
1万口当たり基準価額 (C / D)	16,026円

*期首における元本額は2,828,832,293円、当作成期間中における追加設定元本額は144,789,253円、同解約元本額は122,166,662円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は16,026円です。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	108,963,246円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	28,981,381
(c) 収益調整金	943,537,961
(d) 分配準備積立金	636,859,236
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,718,341,824
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,718,341,824
(h) 受益権総口数	2,851,454,884口

■損益の状況

当期 自2025年3月18日 至2025年9月17日

項目	当期
(A) 配当等収益	120,005,223円
受取配当金	119,886,233
受取利息	118,990
(B) 有価証券売買損益	151,692,224
売買益	154,554,359
売買損	△ 2,862,135
(C) 信託報酬等	24,998,816
(D) 当期損益金 (A + B + C)	246,698,631
(E) 前期繰越損益金	528,105,232
(F) 追加信託差損益金	943,537,961
(配当等相当額)	(935,101,251)
(売買損益相当額)	(8,436,710)
(G) 合計 (D + E + F)	1,718,341,824
次期繰越損益金 (G)	1,718,341,824
追加信託差損益金	943,537,961
(配当等相当額)	(935,101,251)
(売買損益相当額)	(8,436,710)
分配準備積立金	774,803,863

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

(運用報告書に記載すべき事項の提供)

- ① 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ② 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

(運用状況にかかる情報の提供)

- ① 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ② 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

フレキシブル・インカム・ファンド
(円ヘッジ・クラス/ヘッジなし・クラス)

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり/隔月分配型）（為替ヘッジなし/隔月分配型）（為替ヘッジあり/資産成長型）（為替ヘッジなし/資産成長型））はケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス/ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能なFinancial Statements等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

財政状態計算書
 2024年12月31日

US\$

資産

現金および現金同等物	77,017,494
プローカーからの預託貸越	87,543
金融資産（損益通算後の公正価値による評価額）	2,929,451,834
発行済み受益証券の未収入金	4,489,313
その他未収金	46,047,913
資産合計	3,057,094,097

負債

金融負債（損益通算後の公正価値による評価額）	2,257,570
償還済み受益証券の未払金	19,975
未払手数料	1,723,677

負債合計（償還可能資本参加型受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）	4,001,222
---	------------------

償還可能資本参加型受益証券保有者に帰属する純資産	3,053,092,875
---------------------------------	----------------------

包括利益計算書
2024年12月31日に終了した年度

US\$

投資収益

金融資産（損益通算後の公正価値による評価額）からの配当収益	25, 575, 191
現金および現金同等物からの受取利息	3, 524, 660
債券（損益通算後の公正価値による評価額）からの受取利息	133, 009, 919
外国為替純損益	127, 182
金融資産および負債（損益通算後の公正価値による評価額）に係る純損益	17, 001, 548
投資収益合計	179, 238, 500

費用

受託会社報酬	307, 683
運用会社報酬	15, 384, 338
管理会社報酬	1, 230, 734
保管会社報酬	787, 130
為替運用会社報酬	268, 194
為替計算代理人報酬	16, 027
監査報酬	46, 982
逆イールド費用	788
その他報酬・費用	107, 916
営業費用合計	18, 149, 792

金融費用控除前営業損益**161, 088, 708****金融費用**

分配金	(144, 484, 906)
金融費用合計	(144, 484, 906)

償還可能資本参加型受益証券保有者に帰属する純資産の増減（税引前）**16, 603, 802****源泉徴収税****(15, 229, 279)****償還可能資本参加型受益証券保有者に帰属する純資産の増減（税引後）****1, 374, 523**

投資明細表
2024年12月31日

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
投資適格社債					
カナダ					
COLUMBIA PIPE OC CPGX 6.544 11/15/53	45,690,719.19	1.50	PARAMOUNT GLOB PARA 6.7/8 04/30/36	16,812,529.62	0.55
ENBRIDGE INC ENBCN 8.1/2 01/15/2084	18,148,042.22	0.60	PIEDMONT OPERAT PDM 9.1/4 07/20/28	21,120,860.92	0.69
TRANSCANADA TRUS TRPCN 5.7/8 08/15/2076	14,527,694.08	0.48	REGAL REXNORD RRX 6.05 04/15/28	2,085,532.16	0.07
フランス					
ARCELORMITTAL MTNA 7.10/15/39	30,669,099.73	1.01	REGAL REXNORD RRX 6.4 04/15/33	36,272,012.06	1.19
ペルー					
SOUTHERN COPPER SCCO 5.7/8 04/23/45	10,319,179.41	0.34	REINSURANCE GRP RGA 7.1/8 10/15/52	22,363,207.80	0.74
米国					
ALTRIA GROUP INC MO 5.8 02/14/39	15,350,826.04	0.51	SPRINT CORP S 7.5/8 03/01/26	8,877,957.91	0.29
ANTERO RESOURCES AR 7.5/8 02/01/29	17,203,534.81	0.57	TIME WARNER ENT TWVC 8.3/8 07/15/33	15,736,642.97	0.52
ARES FIN III LLC ARES 4.1/8 06/30/51	13,417,031.37	0.44	TRANSCANADA TRST TRPCN 5.6 03/07/2082	17,459,653.50	0.57
BAT CAPITAL CORP BATSLN 7.081 08/02/53	25,456,584.91	0.84	VALERO ENERGY VLO 6.5/8 06/15/37	14,936,775.30	0.49
CELANESE US HLDS CE 6.165 07/15/27	11,730,154.80	0.39	VICI PROPERTIE VICI 5.5/8 05/15/52	22,580,740.79	0.74
CELANESE US HLDS CE 6.8 11/15/30	11,508,597.94	0.38	WARNERMEDIA HLDG WBD 5.141 03/15/52	20,564,592.76	0.68
CHARTER COMM OPT CHTR 6.484 10/23/45	30,777,649.44	1.01	XPO INC XPO 6.1/4 06/01/28	12,272,299.44	0.40
ハイ・イールド社債					
カナダ					
ALGONQUIN POWER AQNCN 8.86372 07/01/2079	5,855,352.62	0.19			
EMERA INC EMACN 6.3/4 06/15/2076	38,383,771.63	1.26			
SOUTH BOW CANADI SOUBOW 7.1/2 03/01/55	15,785,550.94	0.52			
米国					
AES CORP/THE AES 7.6 01/15/55	26,946,339.31	0.89			
ALBERTSONS COS ACI 6.1/2 02/15/28	11,016,364.66	0.36			
ALBERTSONS COS ACI 7.1/2 03/15/26	42,570,215.65	1.40			
AMKOR TECH INC AMKR 6.5/8 09/15/27	38,082,881.84	1.25			
ASHLAND INC ASH 6.7/8 05/15/43	15,611,742.27	0.51			
BATH & BODY WORKS INC 6.875 11/01/2035	34,147,324.05	1.12			
BUILDERS FIRSTSO BLDR 6.3/8 03/01/34	15,223,608.45	0.50			
CAESARS ENT CZR 6.1/2 02/15/32	23,483,357.21	0.77			
CCO HOLDINGS LLC CHTR 7.3/8 03/01/31	13,729,477.40	0.45			
CHART INDUSTRIES GTLS 7.1/2 01/01/30	15,888,367.68	0.52			
CIVITAS RESOURCE CIVI 8.5/8 11/01/30	15,287,336.64	0.50			
CNF INC CNW 6.7 05/01/34	13,694,552.57	0.45			
EUSHI FINANCE EMACN 7.5/8 12/15/54	20,284,171.30	0.67			
GAP INC/THE GAP 3.5/8 10/01/29	9,156,328.55	0.30			
GAP INC/THE GAP 3.7/8 10/01/31	6,754,754.06	0.22			
GCI LLC GCILLC 4.3/4 10/15/28	15,222,246.83	0.50			
GOODYEAR TIRE GT 9.1/2 05/31/25	4,385,795.96	0.14			
IRON MOUNTAIN IRM 7.02/15/29	31,424,326.67	1.03			

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
LEVEL 3 FIN INC LVLT 11 11/15/29	23,178,136.68	0.76	FIRST CITIZENS FCNCA Float PERP	11,686,866.00	0.38
LIGHT & WONDER LNW 7 1/2 09/01/31	35,435,299.22	1.17	GEN MOTORS FIN GM 5.7 PERP	11,282,599.71	0.37
NEXSTAR BROADC NXST 4 3/4 11/01/28	4,489,921.49	0.15	GEN MOTORS FIN GM 6 1/2 PERP	11,742,459.21	0.39
NEXSTAR ESCROW NXST 5 5/8 07/15/27	32,166,546.63	1.06	GOLDMAN SACHS GP GS 7 1/2 PERP	35,611,190.66	1.17
NORDSTROM INC JWN 5 01/15/44	15,081,963.68	0.50	JPMORGAN CHASE JPM 6 7/8 PERP	23,755,514.84	0.78
NORTONLIFELOCK GEN 7 1/8 09/30/30	15,130,828.54	0.50	LAND O'LAKES INC LLAKES 7 1/4 PERP	1,481,881.14	0.05
PARAMOUNT GLOB PARA 6 3/8 03/30/62	10,564,978.18	0.35	LAND O'LAKES INC LLAKES 7 PERP	691,639.99	0.02
PBF HOLDING CO PBFENE 6 02/15/28	15,279,553.11	0.50	MORGAN STANLEY MS 6 1/2 PERP	4,596,164.00	0.15
PERMIAN RESR OPR PR 7 01/15/32	15,501,333.04	0.51	MORGAN STANLEY MS 6 5/8 PERP	24,829,080.43	0.82
PG&E CORP PCG 7 3/8 03/15/55	23,334,010.79	0.77	MORGAN STANLEY MS 6 7/8 PERP	1,455,982.00	0.05
ROLLER BEARING RBC 4 3/8 10/15/29	20,674,508.69	0.68	MORGAN STANLEY MS 7 1/8 PERP	12,171,607.98	0.40
SEAGATE HDD CAYM STX 4.091 06/01/29	9,185,261.41	0.30	NATIONAL STORAGE NSA 6 PERP	4,726,767.32	0.16
SEAGATE HDD CAYM STX 9 5/8 12/01/32	30,414,377.53	1.00	NRG ENERGY INC NRG 10 1/4 PERP	32,989,764.56	1.09
SEALED AIR CORP SEE 6 7/8 07/15/33	32,019,016.67	1.05	PNC FINANCIAL PNC 6.2 PERP	20,603,574.66	0.68
SEALED AIR/US SEE 7 1/4 02/15/31	2,314,142.15	0.08	SCE TRUST VII EIX 7 1/2 PERP	24,010,126.25	0.79
SYMANTEC CORP GEN 5 04/15/25	7,738,491.10	0.25	STATE STREET CRP STT 6.7 PERP	23,088,215.03	0.76
TENET HEALTHCARE THC 6 1/8 10/01/28	11,604,087.00	0.38	SYNCHRONY FINANC SYF 5 5/8 PERP	6,068,552.00	0.20
UNITED RENTAL NA URI 5 1/4 01/15/30	22,072,256.18	0.73	VISTRA CORP VST 7 PERP	9,583,731.03	0.32
VIASAT INC VSAT 5 5/8 04/15/27	15,663,845.82	0.52	VISTRA CORP VST 8 7/8 PERP	32,043,017.26	1.05
WESCO DISTRIBUT WCC 7 1/4 06/15/28	14,417,194.09	0.47	VISTRA CORP VST 8 PERP	38,982,254.74	1.28
XPO INC XPO 7 1/8 06/01/31	14,081,452.48	0.46	WELLS FARGO CO WFC 5 7/8 PERP	6,355,082.87	0.21
優先証券			WELLS FARGO CO WFC 7 5/8 PERP	34,197,463.08	1.12
米国			WESCO INTL WCC 10 5/8 PERP	18,960,875.12	0.62
ALLSTATE CORP ALL 7 3/8 PERP	16,776,509.64	0.55	転換社債		
ALLY FINANCIAL ALLY 4.7 PERP	22,874,079.44	0.75	米国		
ALLY FINANCIAL ALLY 4.7 PERP	6,309,168.04	0.21	BANK OF AMER CRP BAC 7 1/4 PERP	23,719,289.50	0.78
AMERICAN EXPRESS AXP 3.55 PERP	16,559,416.59	0.54	CHART INDUSTRIES GTLS 6 3/4 12/15/25	4,729,208.00	0.16
ATHENE HOLDING ATH 6 3/8 PERP	16,900,388.82	0.56	FIRSTENERGY CORP FE 4 05/01/26	14,344,366.67	0.47
ATHENE HOLDING ATH 6.35 PERP	8,049,591.48	0.26	HP ENTERPRISE HPE 7 5/8 09/01/27	5,996,204.78	0.20
BANK OF AMER CRP BAC 6.1 PERP	18,256,095.26	0.60	SEAGATE HDD CAYM STX 3 1/2 06/01/28	21,122,004.17	0.69
BANK OF AMER CRP BAC 6.3 PERP	12,069,351.47	0.40	WELLS FARGO CO WFC 7 1/2 PERP	30,207,682.83	0.99
CAPITAL ONE FINL COF 3.95 PERP	4,509,653.77	0.15	WESTERN DIGITAL WDC 3 11/15/28	21,261,333.33	0.70
CHS INC CHSINC 6 3/4 PERP	18,046,827.96	0.59	普通株式		
CHS INC CHSINC 7 7/8 PERP	7,188,570.18	0.24	フランス		
CHS INC CHSINC 7.1 PERP	8,496,933.54	0.28	SANOFI-ADR	15,231,034.00	0.50
CITIGROUP INC C 4 PERP	17,616,020.84	0.58	米国		
CITIGROUP INC C 5.95 PERP	5,687,110.77	0.19	ALPHABET INC-CL C	34,717,212.00	1.14
CITIGROUP INC C 6 1/4 PERP	17,957,438.32	0.59	AMERICAN TOWER CORP	12,306,811.00	0.40
CITIGROUP INC C 7 3/8 PERP	19,857,613.17	0.65	AMGEN INC	6,620,256.00	0.22
DISCOVER FIN SVS DFS 6 1/8 PERP	9,484,829.11	0.31	APPLIED MATERIALS INC	11,937,042.00	0.39
EDISON INTL EIX 5 PERP	16,647,481.48	0.55	BOYD GAMING CORP	20,434,518.00	0.67
ENERGY TRANSFER ET 7 1/8 PERP	15,747,565.34	0.52	CARRIER GLOBAL CORP	15,119,590.00	0.50
ENSTAR GROUP LTD ESGR 7 PERP	4,803,027.35	0.16	CONOCOPHILLIPS	11,404,550.00	0.38

NWQグローバル厳選証券ファンド

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
CORNING INC	19,259,856.00	0.63
EMERSON ELECTRIC CO	14,883,993.00	0.49
EVEREST GROUP LTD	15,114,582.00	0.50
EXXON MOBIL CORP	28,118,798.00	0.92
GEN DIGITAL INC	17,597,126.00	0.58
GENERAL DYNAMICS CORP	16,652,568.00	0.55
HEWLETT PACKARD ENTERPRIS	22,767,640.00	0.75
HOME DEPOT INC	8,246,588.00	0.27
HUBBELL INC	17,634,850.11	0.58
HUNTINGTON INGALLS INDUST	14,475,102.00	0.48
JPMORGAN CHASE & CO	19,416,510.00	0.64
MCDONALD'S CORP	15,799,005.00	0.52
NVENT ELECTRIC PLC	27,575,286.72	0.91
PARKER HANNIFIN CORP	16,473,177.00	0.54
PEPSICO INC	7,390,116.00	0.24
PHILIP MORRIS INTERNATION	20,170,660.00	0.66
REGAL REXNORD CORP	6,825,720.00	0.22
REXFORD INDUSTRIAL REALTY	12,000,064.00	0.39
SEMPRA	21,089,116.08	0.69
UNITED PARCEL SERVICE-CL	15,157,220.00	0.50
VALERO ENERGY CORP	9,782,682.00	0.32
WALMART INC	23,825,295.00	0.78
WALT DISNEY CO/THE	28,951,000.00	0.95

<補足情報>

当ファンド (NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／隔月分配型) (為替ヘッジなし／隔月分配型) (為替ヘッジあり／資産成長型) (為替ヘッジなし／資産成長型)) が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日 (2024年12月9日) と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2025年9月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

公社債

(2025年3月18日から2025年9月17日まで)

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
1306国庫短期証券 2025/8/18	13,492,845		
1325国庫短期証券 2025/11/17	12,985,752		
1296国庫短期証券 2025/6/30	11,489,972		
1324国庫短期証券 2025/11/10	2,897,018		
1305国庫短期証券 2025/8/12	2,297,769		

(注1) 金額は受渡し代金 (経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年9月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド (28,052,206千口) の内容です。

(1) 国内(邦貨建)公社債(種類別)

作成期		2025年9月17日現在					
区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 15,900,000	千円 15,888,660	% 55.6	% —	% —	% —	% 55.6

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

2025年9月17日現在					
区分	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	1324国庫短期証券	% —	千円 2,900,000	千円 2,898,211	2025/11/10
	1325国庫短期証券	% —	千円 13,000,000	千円 12,990,449	2025/11/17
合計	銘柄数 金額	2銘柄		15,900,000	15,888,660

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第20期 (決算日 2024年12月9日)

(作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

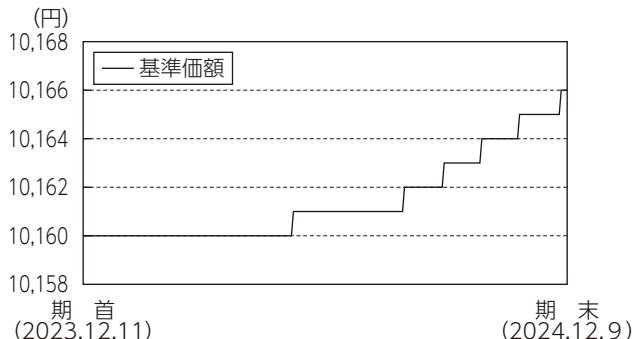
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 組 入 比	債 率
	円	騰 落 率		
(期首)2023年12月11日	10,160	%	—	—
12月末	10,160	0.0	—	—
2024年1月末	10,160	0.0	—	—
2月末	10,160	0.0	—	—
3月末	10,160	0.0	54.3	
4月末	10,160	0.0	61.4	
5月末	10,161	0.0	61.1	
6月末	10,161	0.0	53.7	
7月末	10,161	0.0	53.8	
8月末	10,162	0.0	54.0	
9月末	10,163	0.0	56.8	
10月末	10,164	0.0	52.1	
11月末	10,165	0.0	59.1	
(期末)2024年12月9日	10,166	0.1	59.0	

(注1) 謄落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指標はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・謄落率】

期首：10,160円 期末：10,166円 謄落率：0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3ヶ月物）の利回りはおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3ヶ月

物）の利回りは低位で推移しました。

◆前成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用	－
合 計	－

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入しております。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

	買 付 額	売 付 額
国 内	千円	千円
国債証券	34,898,602	(21,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

当 期			
買 付	売 付		
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
1258国庫短期証券	2024/12/23	11,398,953	
1219国庫短期証券	2024/6/24	10,999,769	
1239国庫短期証券	2024/9/24	9,999,950	
1266国庫短期証券	2025/2/10	2,499,930	

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当期					末
区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB	残存期間別組入比率	2年未満
				格以下	組入比率	
国債証券	千円 13,900,000	千円 13,899,790	% 59.0	%	% —	% 59.0

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区分	銘柄	当期			末
		年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	1258国庫短期証券	% —	千円 11,400,000	千円 11,399,837	2024/12/23
	1266国庫短期証券	% —	千円 2,500,000	千円 2,499,953	2025/02/10
合計	銘柄数 金額	2銘柄 13,900,000		13,899,790	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項目	当期		末
	評価額	比率	率
公社債	千円 13,899,790		% 57.7
コール・ローン等、その他	10,201,274		42.3
投資信託財産総額	24,101,065		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項目	当期	末
(A) 資産		24,101,065,702円
コール・ローン等		10,201,274,983
公社債(評価額)		13,899,790,719
(B) 負債		539,914,600
未払解約金		539,914,600
(C) 純資産額(A-B)		23,561,151,102
元本		23,177,163,591
次期繰越損益金		383,987,511
(D) 受益権総口数		23,177,163,591口
1万口当り基準価額(C/D)		10,166円

*期首における元本額は19,198,713,135円、当成期間中における追加設定元本額は26,183,209,751円、同解約元本額は22,204,759,295円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ゴールド・ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	9,272,436,966円
ダイワ・グローバル IoT 開連株ファンド - A1「新時代」（為替ヘッジあり）	1,316円
ダイワ・グローバル IoT 開連株ファンド - A1「新時代」（為替ヘッジなし）	1,316円
ダイワF Eグローバル・バリュー（為替ヘッジあり）	9,608円
ダイワF Eグローバル・バリュー（為替ヘッジなし）	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり）	1,862円
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし）	1,862円
世界水資源開連株式ファンド	984円
ダイワ／“R I C I ™”コモディティ・ファンド	2,074,249円
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）	1,595円
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）	1,428円
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）	1,772円
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）	1,270円
世界セレクティブ株式オーファン	983円
iFree ETF NASDAQ100インバース	1,625,040,517円
iFree ETF NASDAQ100レバレッジ	6,118,952,239円
iFree ETF NASDAQ100ダブルインバース	1,922,334,672円
iFree ETF 米国10年国債先物インバース	748,591,588円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ	3,487,675,074円
ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）	—トリブル
リターンズ - 日本円・コース（毎月分配型）	1,851円
ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）	—トリブル
リターンズ - 豪ドル・コース（毎月分配型）	1,805円
ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）	—トリブル
リターンズ - ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）	1,763円
ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）	—トリブル
リターンズ - 米ドル・コース（毎月分配型）	1,957円
ダイワF Eグローバル・バリュー株ファンド（ダイワSMA専用）	3,666円
ダイワ米国高利社債ファンド（通貨選択型）	1,773円
ダイワ米国高利社債ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）	1,606円
ダイワ米国高利社債ファンド（通貨選択型）豪ドル・コース（毎月分配型）	1,427円
ダイワ米国高利社債ファンド（通貨選択型）豪ドル・コース（毎月分配型）	1,922円
ダイワ米国高利社債ファンド（通貨選択型）南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）	1,097円
ダイワ米国高利社債ファンド（通貨選択型）トルコ・リラ・コース（毎月分配型）	1,705円
ダイワ米国高利社債ファンド（通貨選択型）通貨セレクト・コース（毎月分配型）	1,350円
リターンズ - 通貨セレクト・コース（毎月分配型）	1,777円

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,166円です。

■損益の状況

当期　自2023年12月12日　至2024年12月9日

項	目	当期
(A) 配当等収益		10,741,987円
受取利息		11,228,079
支払利息	△	486,092
(B) 有価証券売買損益		58
売買益		58
(C) 当期損益金(A + B)		10,742,045
(D) 前期繰越損益金		307,369,188
(E) 解約差損益金		△357,989,162
(F) 追加信託差損益金		423,865,440
(G) 合計(C + D + E + F)		383,987,511
次期繰越損益金(G)		383,987,511

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。